対 象

障害のある人の芸術活動に関心のある人。障害のある人の新しい仕事づくりをしていきたいと考える人。福祉施設従事者、自治体（障害福祉担当課・産業振興課など）、社会福祉協議会従事者、地場産業従事者、アーティスト、デザイナー、大学生、ほかソーシャルビジネスに関心のあるＮＰＯ等。

お申し込み方法

参加申し込みフォームに必要事項をご記入いただき、下記お申込み先まで電話、FAX、E-mailまたは郵送でお申し込みください。なお、定員になりしだい締め切らせていただきます。
※定員をこえてご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたします。

申し込み締切

2015年2月24日｜火｜

第１部・第２部とも定員（80名）になり次第、締め切らせていただきますので、早めにお申し込みください。

お問い合わせ・お申込み先

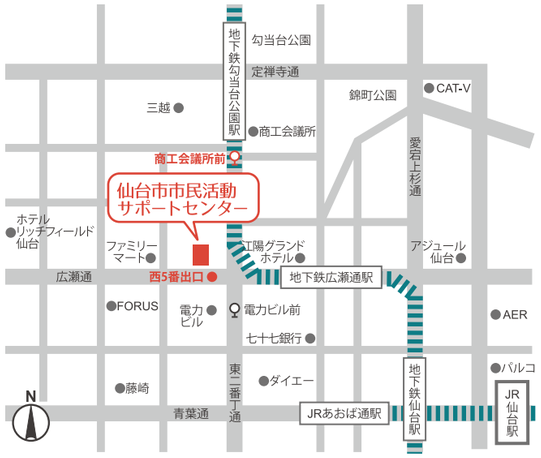
NPO法人エイブル・アート・ジャパン

E-mail: office@ableart.org　WEB: http://www.ableart/org/

▪ **東北事務局**（武田・青木）
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAVISビル 1F
cocolin内
TEL：070-5328-4208

▪ **東京事務局**（柴崎・中谷）
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14
アーツ千代田3331　208号室
TEL：03-5812-4622　FAX：03-5812-4630

セミナー会場のご案内



仙台市市民活動サポートセンター　仙台市青葉区一番町4-1-3

- 仙台駅から徒歩15分
- 地下鉄広瀬通駅前徒歩1分

サポートセンターには、駐車場・駐輪場はございません。
ご来館には公共交通機関をご利用ください。

Good Job! 東北プロジェクト 福祉をかえる「アート化」セミナー@宮城 vol.2

お申し込み内容

電話、FAX、E-mail、郵送にて以下の内容をお知らせください。

■参加希望プログラム　※☑印をつけてください。

☐ **第１部**（13:00-15:00）参加費無料
☐ **第２部**（16:00-18:00）参加費無料
☐ **てつがくカフェ**（18:30-20:30）参加費 500円（ワンドリンク付）

お名前（ふりがな）

所属先・活動内容等

ご住所（ご自宅以外の方は団体名も記入してください）

TEL　　FAX　　E-mail

FAX 03-5812-4630（東京事務局）
MAIL office@ableart.org
TEL 070-5328-4208（宮城事務局）
03-5812-4622（東京事務局）

※お預かりした個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ使用させていただきます。※やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。

Good Job! 東北プロジェクト

福祉をかえる「アート化」セミナー @宮城 vol.2

**アートは人が生きるのをたすける力がある。
だれもが自分らしく生きていける社会を、
わたしたちはアートやデザインを通して実現したい。**

わたしたちは2011年から東北地方で障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくり、障害のある人たちの芸術活動の環境をつくるための支援をつづけてきました。
障害のある人と家族、福祉施設職員、支援に関わる団体やＮＰＯとともに、数多くのセミナーやワークショップを通じて課題を共有してきました。そして、どうしたらその課題を解決できるのか、どうしたら障害のある人たちを含めた生きやすい社会をつくれるのかを考え、その手立てとしてアート活動の導入、展覧会やアートプロジェクトの実施、商品開発の支援を行い、ともに課題解決の試みをつづけてきました。
そして、いよいよここ東北でも、障害のある人たちの表現活動にも関心が集まり、またデザインと結びついた商品化や新しい仕事づくりの事例が生まれはじめ、あついネットワークが生まれはじめています。
もとに戻る復興ではなく、新たな価値を生み出す復興活動へ。この４年間、念じつづけてきた活動の成果と課題を検証する時間とし、さらに障害のある人自身が実践してきた「復興の新しいカタチ」を一緒に発見する機会とします。みなさんのご参加をお待ちしています。

日　時　2015年2月26日｜木｜

会　場　仙台市市民活動サポートセンター
地下１階市民活動シアター

参加費　無料

定　員　各部80名（申込先着順）

第１部　13:00~15:00

**「障害のある人たちによる
アートを生かした仕事づくりは今」**

定員：80名（申込先着順）
主催：一般財団法人たんぽぽの家
共催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
協力：日本NPOセンター、AAR Japan［難民を助ける会］、
みやぎセルプ協働受注センター

※助成：タケダいのちとくらし再生プログラム
（武田薬品 × 日本NPOセンター協働事業）

第２部　16:00~18:00

「障害のある人たちの芸術活動に必要な支援とは？」

定員：80名（申込先着順）
主催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
共催：一般財団法人たんぽぽの家
協力：てつがくカフェ@せんだい

※「障害者の芸術活動支援事業@宮城」厚生労働省・障害者の芸術活動支援事業

関連企画　18:30~20:30　てつがくカフェ「支援とは?? ～障害者の芸術活動支援 vol.3」

第1部　13:00 ～ 15:00（受付 12:30 ～）
「障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくりは今」

震災後、仕事を失った障害のある人や福祉施設がありました。わたしたちは、生きる希望・糧としての「仕事づくり」を直近の課題として、とくにモノづくりを通した支援活動を実施してきました。宮城県のふたつの福祉施設のモノづくりの事例と、宮城県の施設が協働で出展したプロジェクトの仕組づくりについて報告します。

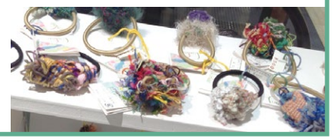
13:00　**ごあいさつ**
一般財団法人たんぽぽの家理事長 **播磨靖夫**

13:10 ～ 13:30（20min）
「タケダいのちとくらし再生プログラム」から生まれたGood Job! 東北プロジェクト
日本NPOセンター　タケダいのちとくらし再生プログラム担当 **深野善人**

企業×NPO×東北の市民が協働する「タケダいのちとくらし再生プログラム」。この４年間の事業の特徴と意義について、また Good Job! 東北プロジェクトを訪問し感じてきた、障害のある人と社会づくりの関係をお話いただきます。

13:30 ～ 13:50（20min）
実践報告①　みどり工房若林（仙台市）・楽しさの風をおくるブランド「FunFan」
みどり工房若林施設長 **今野真理子**、 造形家 **ささきりえ**

精神障害のある人たちの施設「みどり工房若林」は津波で全壊したために仙台市若林区で活動を再スタートしました。クラフト商品の整理・開発という課題解決に地元のクリエイターが参加しました。はじめての訪問、課題抽出、仙台パルコでの販売を目標にした商品リニュアル。短期間のなかにも凝縮された施設とクリエイターとの協働の歩みを報告します。



13:50 ～ 14:10（20min）
実践報告②　のぞみ福祉作業所（南三陸町）・「NOZOMI PAPER Factory」プロジェクト
社会福祉法人洗心会のぞみ福祉作業所スタッフ **森 伸也**、デザイナー **前川雄一**

おもに知的障害のある人たちと仮設のプレハブではじめての自主製品づくりをはじめたのぞみ福祉作業所。2012年からは Good Job! 東北プロジェクトが紙すきによる商品開発の支援をスタートしました。この活動は2014年度にはいよいよ施設そのもののブランディング、地域の土産物品としての商品開発などに発展しています。その現状と課題についてお話します。

14:10 ～ 14:30（20min）
実践報告③　仙台クラシックフェスティバル 2014 出展　ショップ「ハチプオンプ」ができるまで
AAR Japan［難民を助ける会］プログラム・コーディネーター **岸田恵奈**、エイブル・アート・ジャパン東北事務局 **武田和恵**

復興支援を目的に震災後、さまざまな支援団体が東北にやってきました。３年目を迎え、どうしたら現地に意味と価値のあるプログラムを残せるのか。どうしたら障害のある人自身や職員にとって達成感のある機会をつくれるのか。そんな想いで個性の違うNPOが協働し実践した「せんくら」出展＆人材育成プログラム。担当者からの報告です。

14:30 ～ 15:00（30min）
ディスカッション「障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくり」

「障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくり」はどのようなインパクトをもたらすことができたでしょうか。実践報告者とともに課題と夢を語りあいましょう。

15:00 ～ 16:00　コーヒーブレイク

第2部　16:00 ～ 18:00（受付 15:30 ～）
「障害のある人たちの芸術活動に必要な支援とは？」

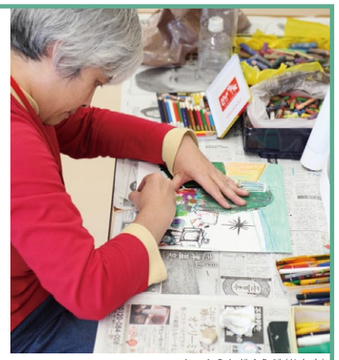
障害者の芸術活動に関するさまざまな相談を受ける障害者芸術活動支援センターの設置をはじめ、著作権保護や芸術活動支援に関する研修、作品の調査・発掘、評価・発信にかかる取り組み、また自治体や各種関係機関とのネットワークづくりなど、多様な実践が全国５カ所で実施されています。宮城県もその１カ所として採択され、特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン（東京／東北）がこの活動を推進しています。
１月中旬、せんだいメディアテークで開催された展示会には４日間で 1,800人を超える来場者を迎えました。作品を出展したアーティスト、家族、支援者による大報告会です。

16:00 ～ 16:10（10min）
「障害のある人の芸術活動支援事業は今」
特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン代表理事　**柴崎由美子**

事業の主旨、全国的な取り組みの事例、そして宮城県における活動の価値とねらいをお話します。

16:10 ～ 17:10（60min）
映像をみながら話そう！「宮城発！アートが生まれるとき」

どうしたら表現活動ができるの？どうしたら支援者に出会えるの？宮城県をまわり映像を撮り、インタビューをしてみたら、支援のカタチは多様にありました。アートが生まれるとき、そこにはどんな支援やドラマがあったのでしょうか。映像をまじえながら語ります。


あーとらんどくらぶ（仙台市）

動機とペースを大切にする個人のアーティスト
造形家　松浦 繁＆彫刻家・アトリエ創主宰　翁ひろみ、アーティストの家族　阿部慶子

芸術文化の発信基地！障害者福祉施設
工房地球村アートスタッフ　刈田路代

今ないならみんなでつくろう！市民によるアトリエ
ペンギンズアート工房（NPO石巻広域クリエイティブアートの会）代表・宮城県立石巻支援学校スクールサポーター　宮川和子

障害の意味をずらしたりひっくりかえす「まっくらカフェ」の事例から
宮城県障害者福祉センター所長・まっくらやみ仕事人　齋藤 基、業務課長・まっくら企画マネージャー　佐々木明子

17:10 ～ 17:50（40min）
ディスカッション　「あなたはどう目撃したか？！宮城県における障害のある人たちの芸術活動」

「障害者の芸術活動支援事業＠宮城」のアートディレクター、協力委員、事務局、来場者で語りあいましょう。

17:50 ～ 18:00（10min）
メッセージ
工房地球村施設長　**田口ひろみ**

開催中の山元町「やまのもとのアート展」と障害のある人たちの芸術活動の意義についてあつく語ります。

関連企画
18:30~20:30

てつがくカフェ「支援とは?? ～障害者の芸術活動支援 vol.3」
参加費500円 ワンドリンク付

ファシリテータ **西村高宏**さん、ファシリテーショングラフィック **近田真美子**さん（ともに、てつがくカフェ＠せんだい）

「障害を理解するとは？」（12月6日＠山元町立坂元中学校）、「障害のある人の芸術活動とは？」（1月15日＠せんだいメディアテーク）につづく第3章！ 昼のセミナーで不完全燃焼だった人も、夜なら参加できるという方も、どなたさまも気軽にご参加ください。

お知らせ

◉「やまのもとのアート展」
2015年2月14日｜土｜～3月22日｜日｜

コミュニティカフェ・工務店・居酒屋・イチゴ農場など、山元町内6会場で開催！

◉「障害のある人の表現活動と著作権」研修
❶ 2015年3月13日｜金｜14:00 ～ 17:00
NAViS ビル３階リンケージルーム
（仙台市宮城野区榴岡 5-12-55）
❷ 2015年3月14日｜土｜14:00 ～ 17:00
工房地球村 多目的ホール
（亘理郡山元町真庭字名生東75-7）
定員：20名（申込み先着順）　参加費：無料

主催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン　詳細は http://www.ableart.org/

いよいよ東北で公募展開催！
第1回 Art to You!
東北障がい者芸術公募展
作品募集！
4月1日｜水｜～28日｜火｜応募資料必着
http://www.art2you.jp/

エイブル・アート・ジャパンは実行委員会に参加しています。